

# 全国高等学校 柔道選手権大会 初出場権を得て

秋田工業高校 柔道部監督  
佐々木 伸一



場する機会はありませんでしたが、団体戦で出場することはできませんでした。学校対抗戦で、最近では常に秋田県上位に食い込み、県新人、県選抜や地区大会などでは優勝するものの、全国予選の決勝を勝つことができず、悔しい思いを重ねてきました。

しかし、平成22年11月27日に行われました第33回全国高等学校柔道選手権大会秋田県予選において秋田工業高等学校柔道部は、男子団体戦を初めて制し、全国大会への出場権を得ることが出来ました。ようやく悲願である団体での優勝そして、全国高等学校柔道選手権大会への出場権を初めて得ることが出来ました。

高校生の試合は、ほとんどが点取り試合で行われますが、高校選手権大会は勝ち抜き戦で行われます。登録選手は2年生が3名、1年生が3名、計6名という構成です。今回の大会は、各チームの力が拮抗しており『各校の差は紙一重』と見られていました。本校柔道部は大砲不在のチームでしたが、チーム力ではどこにも負けない自信がありました。試合が始まり勝ち進むにつれ徐々に緊張感が増えてゆく中、生徒たちには『平常心』と言い聞かせながら迎えた準決勝。相手の秋田商業は、地区大会で敗れているだけに勝負の一番でしたが、自分にも生徒にも「平常心でいつもどおり試合をすれば大丈夫。最後まで一本を取りに行こう。」と言い聞かせ、苦しい試合でしたが勝つことができました。

決勝戦の相手は、本荘高校でした。私は、「これが最後の試合だ、自分を信じ、笑顔で楽しんで試合してこい。」と言って送り出しました。そのときです。選手達は、若干緊張してはいましたが、皆楽しそうな顔をしており、そして私を見てニヤッと笑い試合場に出たのです。その瞬間「勝った、勝てる。」と、思いました。

先鋒戦から、取って取られての激しい攻防となり、大将戦までもつれ込みましたが、最後は本校キャプテン吉田君の豪快な内股で、一本勝ちを収め勝負がつかしました。

男子部員24名一人一人の「日本武道館へ行きたい。」という強い思いが、叶った瞬間でした。この一瞬のために毎日毎日の積み重ねがあり、今この瞬間が生徒の未来へと繋がっている。私は、そう感じました。そして、今年度で退職される校長先生と一緒に日本武道館に行くことが出来ると生徒共々大変喜びました。

秋田工業高校同窓会の皆様はじめ東京秋工会の皆様におかれましては、日頃より秋田工業高校柔道部の活動にご理解とご支援、ご協力を賜り感謝しております。

私は、これまで「伝統ある秋工柔道部を復活させたい」という一念で、取り組んでまいりました。私が一環して行ってきた指導は、柔道を通しての人づくりであります。強いだけでなく、人としての人格、礼儀、気品の上に成り立つ強さこそが本物であり、『金砂健児らしく質実剛健であれ』であります。

気がつけば、赴任して17年の歳月が流れておりました。顧みれば、わずかに部員が1名の時代もありました。気ばかり焦り、私自身、体調を崩した時期もありました。何度も柔道の名門校と呼ばれる学校に挑戦しては、跳ね返され勝てない時期が続きました。そんな状況が続いても、多くのOBの方々から私と柔道部を支えてくださいました。常に思ってきたことは「全てに対する感謝の気持ち」と「不屈の精神」でした。「勝っておごらず、負けて腐らず」生徒だけでなく、自分にも言い聞かせてきました。部訓として『誠実』『努力』『忍耐』そして『不屈』を掲げて参りました。

2年前に柔道の専門家である船木賢咲校長先生が本校に赴任されました。柔道に対する思い、指導法、心構えなど様々な事を教えて頂き、指導して下さいました。

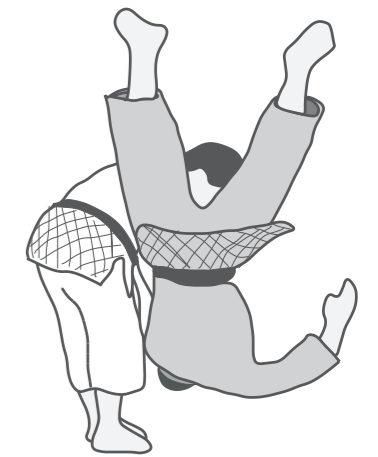
ここ数年、個人ではインターハイや全国高校選手権に何度か出



平成22年度 全国高等学校選手権大会 秋田大会（優勝）にて

H22年度 全国高等学校選手権大会 秋田県予選結果

決勝戦								
本 荘			1人残し○			秋田工業		
1年	大宮 勝伍	先鋒		出足払	○	先鋒	武石 成将	K1
1年	佐々木達郎	次鋒	×	引分	×	//	//	K2
2年	伊藤 孝幸	中堅	×	引分	×	次鋒	鈴木 和宏	A2
2年	松本 拳弥	副将	○	大外刈		中堅	糸山 景太	A1
2年	//	//		払腰	○	副将	今野 慎哉	MA1
2年	煤賀 大祐	大将	○	横四方固		//	//	MA1
2年	//	//		内股	○	大将	吉田 昂史	E2



後列左より 武石成将(2年) 今野慎哉(1年) 吉田昂史(2年/主将)  
前列左より 佐々木 真木竜征(1年) 鈴木和宏(2年) 糸山景太(1年)

とつかんだ初出場権。私はもちろんのことではありますが、秋田工業高校の選手達にしても、この連絡を受けたときの衝撃は、とても言葉では言い表すことのできない複雑な思いでした。様々な事が、私の頭の中を走馬燈のごとく駆け巡りました。

あれから、約1ヶ月が経過し今年の3月末にご退職されました船木校長先生より、引き続き柔道部師範としてご指導いただいております。また、4月からは安田大介先生を柔道部に迎え、部員一同気持ちを新たに、秋田県で開催される北東北インターハイ柔道競技への出場に向け、一生懸命稽古に励んでおります。

おかげさまで、現在秋田県で進めている事業「スポーツ立県秋田」において、柔道男子強化拠点校の指定を昨年11月29日に受けることができました。

最後に、皆様これまでのご厚意に深く感謝しつつ、今後とも頑張っまいりますので、より一層のご支援ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

全国大会は、3月20、21日に日本武道館で開催される予定でありました。しかし、大会直前の3月11日に東日本大震災が起こりました。日を追って、被害状況が明らかになり、3月14日夜、大会本部から「余震が続いており、福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故や計画停電による交通上の混乱や生活上の不安も生じるなど予断を許さない状況にあり、他の大会関係者と協議のうえ、選手・観客の安全性を最優先に考え、残念ながら中止することを決定いたしました。」という通達が入りました。33回目にしてやっ

**株式会社 アドテクノ**  
技術コンサルティング  
Friction Stir Welding Tool 輸入代理店

〒300-0063 茨城県水戸市五軒町1丁目5番48号  
取締役 佐々木 武 (昭和29年機械科卒)  
TEL. 029-233-3380 FAX. 029-221-7789

**富士コンサルタンツ株式会社**

土木設計：道路・橋梁・河川・下水道・上水道・公園  
調 査：測量・地質  
財産整理：鉄道固定資産管理

仙台営業所 所長 野呂 昭光 (昭和37年土木科卒)  
〒982-0001 仙台市太白区八本松2丁目3-23  
TEL/FAX 022-247-8107 E-mail noro@fjicons.jp  
本社：宇都宮市  
東京事業本部 盛岡営業所 仙台営業所 福島営業所 富山営業所 福岡営業所